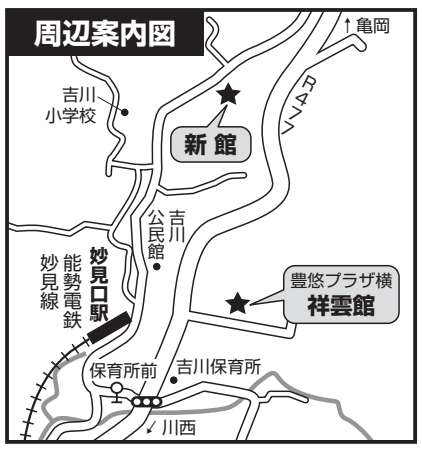
笑雲　B4　2P　1C　上質70k　9500部
Design Room Helvetica
C.Matsuzaki

笑雲（しょううん）

第41号
発行
平成21年3月8日

祥　雲　館
社会福祉法人　桃林会
〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301
FAX：072-733-2303



多事祥論

～地域交流スペース～

こちらが吉川施設の
地域交流スペースになります。

「コーヒーお待たせしました。熱いから気をつけてくださいね。」「ありがとう。」吉川新施設の喫茶コーナーでのやりとりです。

昨年7月に開設した吉川新施設では、地域に開かれた施設でありたいとの願いから、玄関横に「地域交流スペース」を設けました。そして、その一角を利用して喫茶コーナーをはじめました。冒頭の声は、この喫茶コーナーを切り盛りしてくださっているボランティアさんです。当初、この喫茶コーナーをはじめるにあたり、地域のボランティアさんに運営をお願いしました。広報紙「笑雲」にて募ったところ、集まらないのではとの心配をよそに大勢の方が協力を申し出てくださいました。現在、個人とグループをあわせて、約25名の方にお手伝いいただいています。

喫茶コーナーの
ボランティアさんです。

地域の方との関わりにつきまして、私たちは開所以来、協働ということを常に考えてきました。

介護保険がはじまって、介護を施設職員に委ねる仕組みができたわけですが、介護という行為そのものが、利用者の生活全般にわたるものであることから、施設職員だけではその目的をなしえないものであり、ご利用者をとりまくご家族やボランティアさんなどの支援なしには、介護（＝生活支援）が成り立たないのも自明のことであります。

昨年開設した認知症共同生活介護（グループホーム）においても、地域の方の見守りが、ご利用者の安全・安心という部分ではすごく重要になってきます。明らかに、私たちは、地域の方との関わりなしに、ご利用者の生活支援はできないのです。そういう考えのもと、当館ではこれまでに多くのボランティアさんに協力を仰いできました。

しかし、振り返って思うところは、「ご利用者のために何かできる」というボランティアさんでないと施設に入りにくかった気がします。もっと気軽に地域の皆さまと関われないかと考えたのが「地域交流スペース」です。将来はご利用者の作品を展示したり、サロンスペースとして使用していただいたり、介護や福祉のことで相談会を実施したりと、いろんな利用の仕方を考えていきたいと思います。横ではボランティアさんがおいしいコーヒーを入れてくださいます。そして、ここに集う人たちが一緒になって、将来、この場所から地域に対して何かを発信していけるような、そんな場所に育ってほしいと思います。

お知らせのコーナー

ホームページがリニューアルしました。
祥雲館の「こだわり」についても紹介しています。
ぜひ一度、のぞいてみて下さい。

http://www2.gol.com/users/syownkan/

笑雲　B4　2P　1C　上質70ｋ　9500部
Design Room Helvetica
C.Matsuzaki

祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近起きたことを紹介します。当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

◆2008. 12. 10
○職員研修「制度サービスの理解」を実施しました。
◆2008. 12. 15
○特養ホーム一部ユニットケア導入についての会議を行いました。
◆2008. 12. 16
○デイサービスにてX'masの「ケーキ作り」を行いました。
◆2008. 12. 19
○職員による年末一斉清掃を行いました。
◆2008. 12. 27
○特養ホーム一部ユニットケア導入についてご家族向け説明会を行いました。
◆2008. 12. 28
○特養ホームにて「もちつき大会」を実施しました。
◆2008. 12. 31
○特養ホームにてオリジナル神社を手作りしました。
◆2009. 1. 1
○正月三が日は、おせちやお酒で和やかに過ごされました。
◆2009. 1. 5
○デイサービスあじさいにて吉川八幡宮に初詣に行きました。
◆2009. 1. 14
○特養ホーム4階にておやつレク「クレープ作り」をしました。
○デイサービスみずほにて「おでんパーティ」を行いました。
◆2009. 1. 23
○新館にて「安全会議」を実施しました。
◆2009. 1. 26
○デイサービスあじさいにて「餅つき」を行いました。
◆2009. 1. 28
○ショートステイにて調理レク「お鍋」を行いました。
○職員研修「認知症の理解Ⅱ」を実施しました。
◆2009. 2. 3
○デイサービスみずほにて「節分イベント」を行いました。
○吉川小学校3年生が「総合学習」で来館されました。
◆2009. 2. 11
○職員研修「スーパービジョン」を実施しました。
◆2009. 2. 17
○リスクマネジメント勉強会を実施しました。

祥雲館のホームページは
http://www2.gol.com/users/syownkan/

紙ヒコーキ 編集後記

早いもので今年も2ヶ月が過ぎ、もうすぐ春ですね。春は出会いと別れの時期と言われますが、私も学校を卒業して9年が経ちました。今振り返ると、学生時代が懐かしく思います。学生時代は嫌な時もありましたが、今は学生が羨ましい感じです。人間とはわがままな生き物ですね。

私には息子と娘がいます。息子は来年小学校に就学しますが、まだ息子がランドセルを背負っている姿がイメージできません。私の親も同じ気持ちだったのでしょうか。成長は嬉しいですが、成長につれ親離れすると思うと、何か寂しい感じがします。これも、親には避けては通れない道なのかなぁと思います。皆さんも私と同じ経験をされたのではないでしょうか。（永田）

次回の発行は平成21年5月10日（日）です

神社を作ってみました

時期は少し違いますが、祥雲館に住んでいる利用者様の中には、初詣に行きたいけれど、なかなか行けない方もおり、そんな方々のために、去年の年末に職員で神社を作ってみました。

鳥居もあり、良いできあがりでした

ここに来られた利用者様の中には大変喜んで頂けた方、感激のあまり泣かれた方等、とても良い反応でした。皆さんも来館された際は、是非一度ご拝見下さい。

リハビリ豆知識

早いもので節分も終わり選抜高校野球の季節となりました。皆さんお元気にお過ごしでしょうか？

保健医療に対する政策は、この10年で大きな変化がありました。H12は介護保険が施行され、健康21が策定されました。H14は健康増進法が施行され、H17は健康フロンティア戦略が策定されました。近年はメタボリック対策が注目されています。健康や体力についての議論が盛んに行われてきた10年といえます。当コラムに於いてもそれらを紹介しつつ、転倒予防やADL維持、介護予防の重要性等についてお伝えしてきました。今回は、最後に「健康」について書きたいと思います。

WHO（世界保健機構）は、健康とは「病気や虚弱でなく、体力があり、人間が豊かであり、精神的に安定している状態」と定義しています。この体力には、身体的行動的なものだけでなく、恐怖や不安、心配事などの心理的要素に対する抵抗力や免疫力までも含まれるといわれます。そこで思いつくのが、ストレス（体、心の歪）の事です。毎日のニュースも、不景気、雇用問題、契約打ち切り、内定取り消し、ホームレス等書き出せばきりがないほど心配だらけのストレス社会。それに対する体力（抵抗力や免疫力）が必要なんですね。結局、「体力」とは高齢者だけの問題ではないのです。

そして、このストレスは何とかしてコントロールしたいものです。人との触れ合い（仕事以外の友人）、自分主義、仕事を溜めない、趣味の時間。とにかく自分のストレスに対する閾値を知る事が重要と僕は考えています。

このコラムも今回にて最後となりました。長らくお付き合いくださいましてありがとうございました。

人に甘えてストレスを溜めないように生きてみようかな？

楽しみは　心にうかぶ
　　はかなごと
思ひつづけて
　　煙草すふとき
　　橘　曙覧

デイサービスセンター祥雲館
理学療法士　大西憲久